

★ふれあい ☆まなび ○つなぐ
地域づくりの拠点

花園公民館

文責 公民館長 堀内 澄夫

第二回青空教室

「宇城広域連合北消防署見学」

今回初めて子供たちに、防災教育や消防署に関心を深めてもらうために、地元にある北消防署見学を、七月十五日(土)に実施しました。



当日の子供たちの参加は四十九名でしたが、みんな消防署の見学を楽しみにしていました。まず、子供たちは消防署員の方からお話やビデオ

視聴をした後、三班に分かれて通信指令室、消防署員が出勤する着替え場所、救急車や様々な車両の消防車を見学しました。子供たちは興味津々にそれぞれの場所で質問をしていました。



最後の感想では、「あんなに重い消防服を着て、素早く行動する署員の皆さんに感心しました」とか「将来は消防署員になりたいです」等の声が聞かれました。

第三回青空教室

「JR熊本総合車両所見学」

今回初めて総合車両所の見学を八月二日(水)に実施しました。対象学年は三・四年生でしたが、当日は十八名の子供が参加しました。子供たちは総合車両所に入ったからあまりの広さに驚いていました。

先ず、スタッフの方からは、総合車両所のA棟からF棟までの作業内容についてビデオを通して説明がありました。



その後、実際新幹線の車両に乗り込み、子供たちは座席を動かしたり、向かい合って遊んだりしました。また、車内放送を体験する子供もいました。



感想では、「新幹線の中で、普段はできない車内で動き回ったり、友達と大声を出して遊んだりしたのが楽しかった」とか「車両所はお医者さん、お掃除屋さん、お家の三つの役目があることが分かりました」等の声が聞かれました。

四年ぶりに、宇土市

「少年の主張」大会開催

宇土市「少年の主張」大会が、四年ぶりに、八月二日(水)の午後一時三十分から宇土市民会館二階大会議室で開催されました。

当日は、七つの小学校と四つの中学校の十一名の小・中学生が発表してくれました。



発表の内容も盛り沢山でした。身近な生活から持続可能なSDGsを考えた、自分の住んでいる地域の良さを知り、郷土への誇りを持ったり、身近なペットから命の尊さを知り、自分の将来の夢について考えた

り、毎日の通学の時、交通指導をされている方にあいさつをすることで、人と人とのつながりの大切さを知ったこと等々。一人一人が、今、自分が感じていること、考えていること、学んだこと等を素直に、しかも、堂々と発表してくれました。出席者の皆さんも、小・中学生の素晴らしい発表に感動されました。

館長のつぶやき

私の愛車について書かせてください。初代は、熊本市内の白坪小へサニーで通勤していました。二代目は、天草中の部活で駅伝を担当していたので、七人乗りのドミゴでした。三代目は網津小、住吉中の部活のハンドで、子供たちを県外遠征に連れていくため、八人乗りのタウンエースでした。その後、行政経験をしたので、部活とも遠ざかり、ワンボックス型からセダン型に変更を考えていました。丁度その頃、天草の御領小に赴任した関係で、燃費の良いプリウスに変更しました。快適な乗り心地で、プリウスの二代目、三代目に乗っていました。生活の変化と共に、私の愛車も変遷しました。今私には、四歳、三歳、一歳の孫がいます。妻と三人の孫を一緒に乗せて遊園地や動物園に連れていきたいけど、今のプリウスでは、乗せることができません。普段は二列の座席だけど、状況によって三列になる七人乗り、しかもコンパクトな車はないか探していました。そして、出会ったのが「家族の相棒、シエンタ」でした。